

冊 數	番 號	部 門
二 五 九	一 四	三

近江輿地志畧

二十三





きんじくし寺あり梅五葉の地をこゝに氏家の地を  
や

一 最正寺 赤下村ありあり一向宗東本願寺の末なり

一 淨照寺 田村ありあり日蓮宗中興寺の末なり

一 待野 赤下村と大津との中間なり山あり山あり待野

系とていふ掛野とて陸奥へはくはく早き船上あり

陸奥と河のいそなり山を通過なり歌ありとて陸奥の

系とていふ

万葉集

大津の歌をいふは待野の山をこゝに尾の山をこゝに  
大津の歌をいふは待野の山をこゝに尾の山をこゝに

皇統壬二集

赤下村ありあり山あり山あり山あり山あり

新勅撰

いはふ我をいふは待野の山をこゝに尾の山をこゝに

新六帖

知長

といふ人ありあり山あり山あり山あり山あり

史本集

は下を海

さへ波や近海の山尾の山あり山あり山あり山あり

新言集

大坂大信

さへ山あり山あり山あり山あり山あり山あり



多礼毎年四月朔石垣村の長を神とす一河内とす  
らの神社も石垣村の長を神とす一河内とす  
寺大僧の神と稱す

一 國光寺 大僧多部寺郎の西一町あり一山麓あり  
松山香徳院と号す禅宗餘流京東福の末とす  
相傳り寺初伊勢の山とあり一多部寺代との寺  
あり一寺分都寺あり對せし寺一寺兒寺と云候て  
この地より一寺あり

一 瑞雲院 大僧多部寺郎の末急光寺の下にあり一節と  
是も瑞雲とす

一 慈光寺院 大僧所の傍にあり一中寺觀音

一 桂芳院 慈光院の内にあり一急光寺の傍にあり

一 願成寺 急光寺の南にあり一急光院の末流なり一僧  
身代の礼とす

一 大光寺 願成寺の南にあり一急光院の末流なり  
一 瑞雲寺 願成寺の南にあり一急光院の末流なり

一 古修院 大僧分都寺郎の寺にあり一急光院の末流なり  
一 二の初のかいし急光寺の末流なり一急光院の末流なり  
一 急光寺の末流なり一急光院の末流なり

てさる寺を寺のまゝ一とて山門にふあめ之院とすははの  
旧の寺座一城地とすうていふに城も亦田舎とすははのまゝい  
如くまゝ一とせざるのまゝ一とせざる寺とすははの院とすははの  
ふんいままはの院とすははの

古城址 是るふち今の多郡のの邸是うてちの強  
今くあるまゝいふ城に傳へて来たるのまゝは磯野丹波は水城  
の址とて織田七三番位澄しはの城より移り織田七三番位澄  
に於長の子とて信長の子とて信長の為ふは姓あり

一 園寺四院 大傳の上より  
一 音相村 石相村の少いなり清あり川あり此の形は粗部

の多羽のなり似たり因てはちまといふ

一 長谷寺 多羽村の上はらよりあり白蓮山長谷寺といはれ  
縁記異なり曰く多羽寺とて是の寺なりといふまゝ多羽郡音相  
之尾山より下谷の柳あり常々光とて多羽の白蓮花と生  
其寺も野火枝をやしは流根と流ひ白蓮寺と流  
おく志賀郡大津浦に流ひはるなり幸ふくは後養  
老四年甲の末とて大和国なる市敷八木をすうつは徳  
及上人の末とて泊瀬の東の峯に結とすははの  
亦とて取十一面のその末とて送るなりはつは神皇四年四月  
はる報る地流る現しては切成物とすははの二とて大



一 三尾山 ありしとき三尾のまゝなり作らざるを假名去りて

三尾とせしむるありしとき三尾のまゝなり作らざるを假名去りて

三尾とせしむるありしとき三尾のまゝなり作らざるを假名去りて

三尾とせしむるありしとき三尾のまゝなり作らざるを假名去りて

三尾とせしむるありしとき三尾のまゝなり作らざるを假名去りて

拾遺集

後人

三尾とせしむるありしとき三尾のまゝなり作らざるを假名去りて

新勅撰集

忠臣

三尾とせしむるありしとき三尾のまゝなり作らざるを假名去りて

新撰古今集

後九条

三尾とせしむるありしとき三尾のまゝなり作らざるを假名去りて

竹倉集

柳河

三尾とせしむるありしとき三尾のまゝなり作らざるを假名去りて

新六帖

有象

三尾とせしむるありしとき三尾のまゝなり作らざるを假名去りて

史本集

有象

三尾とせしむるありしとき三尾のまゝなり作らざるを假名去りて

三尾とせしむるありしとき三尾のまゝなり作らざるを假名去りて

三尾とせしむるありしとき三尾のまゝなり作らざるを假名去りて

三尾

一 普賢寺 宮地村ありあり一向宗ありあり

一 野田村 宮地村の北野田の北田ありあり

一 水田村 北田村ありあり

一 永田村 宮地村の東大澤の西ありありお侍住ありあり

一 鹿原永田ありありゆきぬ地ありあり住まぬて村の名ありあり

一 木たきし助ありあり永田と号し地名を以てたきし助果

一 氏と号するありありあの人あつたきし助と板井全我井屋舎

一 久陣ありあり信長より討ててお國ありあり

一 古城址 永田村ありあり平城ありあり今少段の院ありあり

一 つらねり別永田たきし助あつたきし助の地ありあり

信長公のころありありたきし助永田の地ありあり  
存近(信)の尉あつたきし助ありあり

一 常務寺 田村ありあり一向宗ありあり

一 永田浦 永田村の浦ありありやう福浦ありあり

一 ありあり下の浦ありありの浦ありあり

一 ありありありありありありありありありあり

一 清原寺村 大澤の浦ありあり今お寺ありあり

一 ありありありありありありありありありあり

一 ありありありあり

一 慈教寺 ありありありあり一向宗ありあり



一 八池庵 知谷の上八池のくろく川とて池の名も大小  
の二層あり大層は深きとて八池のくろく川とて池の名も大小  
を去る所の為なり八池ありあまのくろく川とて池の名も大小  
の各もまゝとてくろく川のくろく川とて池の名も大小

一 多相岩 相山の流すあり借用のとておろの子相は似  
つて岩多く並りくろく川のくろく川とて池の名も大小  
くろく川のくろく川とて池の名も大小

一 標りくろく川 八池のくろく川とて池の名も大小  
をくろく川のくろく川とて池の名も大小  
若狭一玉眼りくろく川

上祥村

吉田村の中あり

禪智院

上祥村よりあり禪智院 禪智院 禪智院

お徳尼の開基なり浄土ありある手徳あり 開基

賢四代よりくろく川のくろく川とて池の名も大小

尼よりくろく川とて池の名も大小

轉法橋前左府の女せり 禪智院 七代ありくろく川

邦永親王の鎌倉なりくろく川とて池の名も大小

音くろく川のくろく川とて池の名も大小

一 石蔵 上祥村の上のくろく川とて池の名も大小

くろく川のくろく川とて池の名も大小

後世し 早稲花ひらりとあひく久しき少のぬきとてのぬきとて蘇  
ぬのおくまのり 南丹中板の早稲花ひらりとあひく久しき少のぬきと  
ゆり大のまよまの字も清のりよのすけし 大西まひきりて川  
波やうま じりり 上古大ぬの流ひあつるよの所のこもあつて  
志野郡 栗原中栗原郡 田上早村のまよまと名をまよま  
其おほくまぬの流まよまよまぬだ 安波がけけけけのぬき  
の隠道がた してあれまよまぬのちね古言に 横巻あつ  
しつまつ又物まよまぬ恵受押勝々家談三十条入まよまぬのすけ  
新首目しきあれも 彼後教の横巻を所縁へのの横巻し  
志とつて

一 ち舞太村

まよまらり 二尾山の麓あり

一 水尾社

ちね太村あり市尾山のふもとにあり川正

隔て二社あり ち舞太の神 二尾山の麓の倉下河東の社と名  
はく北の天鈿女命 河北の社と名はく 延喜式社名に  
よ所 水尾社 二尾山 大月 改新嘗とふとの是と  
とあ社の間をくまをえりて 志野くま 志野の間に川正  
ちりりゆり 小河南河北の名ありおの社地白雲山の麓あり  
南社ありまよまの流のふまら尾山と名はくとハ二尾山 水尾社  
ぬのぬきを水尾まよまといふ古の社名まよまありて 横巻ま  
まよま 小今まよま 僅よ 志野のまよまぬまよまありて 白

蓮山長老年六十有八... 二代天皇曰

觀十五年閏六月廿七日戊子... 神德皇后

一 水尾川... 今の河車河北の社の名を流連湖氷水入源

水尾山より出るといふ... 妙なる人なり

一 水尾碕... 水尾山の東麓湖水の碕... 思ふ所川

たけまゝの如きなりあるは水尾の浦... 讀利

百葉集

水尾碕... 又願津

貞治百首

水尾の浦の民のては... 仲は月夜

水尾の浦の民のては

一 水尾の浦... 細川

水尾の浦... 民のては

正一位為... 皇弟... 皇孫... 皇七世孫也... 近江国三尾別業遣使聘子三國坂中井納以為妃

五弓引送渡は清仲者海音より恐入りて電音もふりて  
一押備の積威りてくをしくうふををゆく平定字八年九  
月送渡をなさんんも大印元も無け良廣押備の子竟  
今れも湯の身小なることと忠懼りて定字の養も帝大  
一勢もなまひ官軍をさしゆく押備の鬼を圍めし押備  
率一の用意とてさす事一を善くの遠慮しし妻ふとて川  
とて同道すり近江路小通とてさす一城さ日む教子廣  
右馬の所生侍伯伊多智田系路も利とてさす一湯も  
何れと梅落千草と張しとて川押備ももろく湖西  
よ情とてさす徳教とてさす一赤か筑前もさす一宅も入とて徳意

右平取陸二たしと改討押備ゆき道祖との文徳統とてさす  
一新帝とてさす一天子の御徳を何れ教とてさす  
考の六代とてさす一訪とてさす一日中郭伊伯改討と急外川  
押備投戦すも投もさす一あふとてさす一徳津とて行とてさす  
悪風籠つとて之尾掃も吹とてさす侍伯三孫とてさす  
為とてさす一とてさす一申の古刹とてさす一官  
兵右村石指押備と生捕頭とてさす一介妻も徳意  
の志二十余人搦とてさす一湯迎とてさす一斬罷とてさす  
日中記等の記とてさす一とてさす一とてさす  
鴨川とてさす一水尾社の少とてさす一川とてさす一は古いとの

川伊豆のきざりし合はるる川にさかき  
今ハ絶たるし川の鴨川の川橋六十間あり  
しりし其の橋はり原に二つしち橋と  
也橋といふ信く上幸し一のやるも東  
は野田しこのて遠く鴨し一の水東  
あふれし水入し一山の鴨川に水  
し一河く流る相谷の山(Shimada)の  
未たこれ伊豆津に葉師川宮師寺の  
の少くも二流合し鴨し一の水東  
未入鴨川の名ハ多流し鴨の鴨川に  
鴨川

鴨し一川カ鴨の社鴨し一  
名は鴨し一橋し一上古のきよ  
てし一鴨川の神傳ふ  
物といはに名も是

鴨し一 一村し一高野村南野村北野村之永田村  
其谷ちし一の少くも鴨し一地鴨川八田川  
前合し一鴨の鴨川合の形ハ鴨し一鴨川  
し一の名ハ鴨し一橋し一は院カ  
記ハ鴨し一東野ハは名ハ鴨し一社カ  
名ハ鴨し一鴨ハはし一鴨し一

すしと申渡りて二の宮に申渡りて申渡りては信濃の國に  
かきしる祭事なりと申渡りての宮に申渡りて

天の宮社 野の宮社 申渡りて申渡りて

は院に申渡りて 梅の宮社に上りて申渡りては院に

申渡りて申渡りて申渡りて申渡りて申渡りて

申渡りて申渡りて申渡りて申渡りて申渡りて

申渡りて申渡りて申渡りて申渡りて申渡りて

申渡りて申渡りて申渡りて申渡りて申渡りて

申渡りて申渡りて申渡りて申渡りて申渡りて

申渡りて申渡りて申渡りて申渡りて申渡りて

野川野の宮に申渡りて申渡りて申渡りて申渡りて

申渡りて申渡りて申渡りて申渡りて申渡りて

貴松社 申渡りて申渡りて申渡りて申渡りて

申渡りて申渡りて申渡りて申渡りて申渡りて

山王社 申渡りて申渡りて申渡りて申渡りて

申渡りて申渡りて申渡りて申渡りて申渡りて

申渡りて申渡りて申渡りて申渡りて申渡りて

申渡りて申渡りて申渡りて申渡りて申渡りて

申渡りて申渡りて申渡りて申渡りて申渡りて

申渡りて申渡りて申渡りて申渡りて申渡りて

家おらふし〜  
この類といふ所〜

武蔵村

古城止

跡多利下野もいほ〜

作庭もいほ〜

武蔵

横山村 武蔵〜

古城止 横山〜

平城〜 横山〜

一 若宮社 横山村〜

一 大徳寺 同村〜

一 田中庄 上寺村〜

一 上寺村 横山村〜

一 寺村〜

一 松蓋寺 上村田家の上北山丁并ありて其願に普  
 門院と号すお侍古者も大徳寺より左かきく御旨の  
 仙園と号す其傍七寺あり其一陰よりふ今もつらり  
 親善堂一室とありて比敷山延暦寺の末末たりて親  
 善の像長式も是の傍の作招待不動明王毘沙門天  
 其他詳しうありて

一 古城址 上寺村上の山よりあり田中播磨守定氏居候の  
 跡より其傍七額の一負よりこの城を上ノ城と号す南  
 市村の城と下の城と云定氏は其階飛石と怪籠り九  
 男田中十希惟業の二男次希惟氏、末葉ありて

一 地不任 田中の名を能く田中氏を稱せり其名を  
 の又昔より田中名部大輔を改てし其名を、ふなり  
 幸しを祥とて人馬川より截す  
 一 佐賀村 上寺村の小東よりお侍も古者村より能  
 るとせし里の文々のと改てしなり

一 菴王権現社 佐賀村よりあり  
 一 大畑村 上寺村佐賀村の山よりふの山北内西通り  
 七少一間ありあり七少八少ありとあり三少五少南通り  
 二少三十間あり 當君の侍林あり  
 一 三田村 佐賀村の小東よりありその地中延暦寺

ふらふらの文豪... 古昔河津海山... のき通りの... 一糸のたまり

一 玉泉寺 三田村より... 西教の末も

一 長光寺 同村より... 末流

一 三田村 三田村の山東より... 牛取天皇の

一 三田村 三田村の山東より... の名あり

一 牛頭天王社 三田村の山より... 神

一 三田村 毎年五月一日... 競馬の年々

一 三田村 毎年五月一日... 競馬の年々

一 仁和寺村 三田村の南より... 古昔仁和寺

号... 純の疏... 山名あり... 其像化... 四物と... 見え... あり

一 三田川 山川より川上... 石像の... 佛あり

一 地蔵堂 仁和寺村より... 地蔵の... あり

一 三田川 山川より川上... 石像の... 佛あり

一 三田川 山川より川上... 石像の... 佛あり



と教へり三尾里三尾谷の郷とて一列あり

一 三尾神社 三尾里村より西に七俣を隔て所の神位を

つとむ三尾大崎部なるも其指をさす 延喜式神名帳より

いさむら等も社をさす 其社三尾大崎のにおゆるを以て

は世に流るる

一 信光寺 三尾里村より西に一向宗を奉ずるの寺なり

一 妙光寺 日村より西に一向宗を奉ずるの寺なり

一 満願寺 日村より西に一向宗を奉ずるの寺なり

一 鶴塚 日向の満願寺の西にありいま宮内省に據りて

まはさるる一丈ありお侍古者ふの地とて雄雉の窟なり

或日一雄を射らりて其子致して又其子の翌年まゝ

一 雄雉を射らりて其子致して又其子の翌年まゝ

別雄雉の相葉の下にありて其子致して又其子の翌年まゝ

築

一 近江國龜甲郡...  
 一 信濃國...  
 一 備前國...  
 一 備後國...  
 一 備前國...  
 一 備後國...  
 一 備前國...  
 一 備後國...

近江國龜甲郡志 卷之九十二

名川存清 編輯

高橋郡 卷二

一 石橋村 彦美村の端村あり 操多し種類あはれ久人著

剛集田信伯氏長女と相撲の所々ありて我々の國じりの  
 有りありと見まじき高橋を延信市に於てけりて女は  
 川の氷まじきと自りてて水ありたりて長きと名を志  
 うあり女の挿とてたりありてかまじきと名を志  
 況まじきと名を志とてたりありてかまじきと名を志  
 ありたりけり挿をいふとて長きと名を志とてありて

希り氏長興ありて出往よやくを委ねわしむらわしむま  
 まはさるりあり引ぬんたまねばいひくたまふく  
 少も引もなつる一とるなきまかたよきとてありくと女の  
 外も後てお女あむぬ水少きと塩も少きなり一あや  
 てさうのおもふらせのくちかちかちかちかちかちかちかち  
 かちかちかちかちかちかちかちかちかちかちかちかち  
 お僕の病一とあやみくくかちかちかちかちかちかちかち  
 入とあやみくくかちかちかちかちかちかちかちかちかち  
 あそゆま玉板いひらあやみくくかちかちかちかちかちかち  
 とこののえいけしあこひなきましむらわしむまはさるり

答あやめはかみ足来しむまはさるりは市一の初日  
 たりりなういまあまの道一入まねおらむらうかひまらん  
 とこを日数しりり苦しわんやあひてあてまりかちかち  
 とりあたまき飯をさうりてくまらあかひかちかちかちかち  
 居のちるははあひわわさうらうの目しりかちかちかちかち  
 あれま三七のしりそ一つを志ふまかひしりけしあこひまら  
 をしとさるりや一りひて々々このめりりたまはあの上々さう  
 とあそきんゆき一このわしあれ一俵のまほのりあやをゆま  
 多くおらう甲よ水まらさるりあ村人一水も端一とくくあ  
 そひてあなの子一田よあこはあこはあこはあこはあこはあ

かたねと表の意さよとせんずりちのふのまもりのまよとてありてお  
の水よまゐりて人の心も水玉せきて我も田にかりに  
よまゐりてあねん水玉よよとあやせりて田にかりに  
まあゝと村人の心も水玉よよとあやせりて田にかりに  
引のあやせりてあねん水玉よよとあやせりて田にかりに  
あねん水玉よよとあやせりて田にかりに  
ていまもりてあねん水玉よよとあやせりて田にかりに  
まよとてあねん水玉よよとあやせりて田にかりに  
まよとてあねん水玉よよとあやせりて田にかりに  
まよとてあねん水玉よよとあやせりて田にかりに  
まよとてあねん水玉よよとあやせりて田にかりに

は第しあまこ作りとせん長柄のふ産麻の長柄とせん  
かやのよのこ三夜も原老孝天皇仁和二年五月十八日  
なすよむり（てんか）士石直漸阿カ根健名正漸伴長お撲  
と最天下をまよとてあねん水玉よよとあやせりて田にかりに  
とよふ世のめを射の式よ大赤大とていつとよの  
とり出る古美の心あり人々射のうとありあつとよ人の大赤大  
まよのふとまよとてあねん水玉よよとあやせりて田にかりに  
いとうとて一赤よの心大赤といまもりてあねん水玉よよとあやせりて田にかりに  
夜よ大まよとてあねん水玉よよとあやせりて田にかりに  
まよとてあねん水玉よよとあやせりて田にかりに

一 南布村 産新村の来りあり

一 飯沼村 大和飯沼平忠より飯沼よむ里に存那 本津

飯沼より言津入道より一飯の妙なるよりよむと古名は

飯沼より言津入道より一飯の妙なるよりよむと古名は

一 榎井川村

一 三重生在 飯沼村大川村にまじりて二村あり

一 書取村 南布村の西なり

一 古城址 書取村よりあり平城なり山崎吉原改形後の

地あり昔は乃々書取村の一負より一飯の妙なるよりよむと古名は

一 大川村 書取村の北なり

一 三子神社 三子神社は是より七宿龍淵を字を給一肘

園高徳部 三子神社は是より七宿龍淵を字を給一肘

三子と池あり園にこの地は古名又比の名ともあり

三子と池あり園にこの地は古名又比の名ともあり

三子と池あり園にこの地は古名又比の名ともあり

の系よりいづれあり

近江の... 三子神社の... 三子神社の...

一 庄畑村 三子神社の... 三子神社の...

一 福田寺 庄畑の... 庄畑の...

の系よりいづれあり

一上小川村

也野々々の山々

一上小川村

上小川村に於て小川氏の傳を本家の氏

長より世に傳へたる地を因て舊と名付古昔は

地いよまたある

一善樹寺院

田村に於て申はふた馬の権命降堂の地

いよまたあると申す善樹寺院西の隅にありて

樹先と申すも申す申す二十有るなりて

傍に潤きありて善樹先生の神を祀りて

京兆備後守地とて修禪を旨とす

の序と稱して善樹とていふ流ありて

いよまたあると申す申す

岸邊の海邊の傳は、藤村より坂下門人藤村先生と藤村洋  
切小人お門下沈く

一 常省先生墓 甲江ちた西つ三男流三郎一季年とし

号す何十の海前國より傳後宗對馬より傳小宮永六年

退隱しとく赤の地より門人常省先生と藤村

一 下小川村 上小川村の東より河

一 橋江村 下小川村の西より河

一 藤江村 橋江村の西より河

一 今草部村 下小川村の東より河

一 川中村 藤江村の西より河

史本集

清備

一 河橋の松林本流のまきぬふ代のももひものいぬ

國

海嶽

一 河橋の赤川のりまきぬふ代のももひものいぬ

一 南舟村 藤江より川中村の東より河 盛嘉元ハ

一 刑部を江の玉湖の舟木の奥より海賊二十人柳

一 河橋の赤川のりまきぬふ代のももひものいぬ 坂刑部

一 河橋の赤川のりまきぬふ代のももひものいぬ 坂刑部

一 河橋の赤川のりまきぬふ代のももひものいぬ 坂刑部

一 河橋の赤川のりまきぬふ代のももひものいぬ 坂刑部

は比治りておろし大このことかを回村の降りて流る

一 新庄川 安曇川の末流なり舟木のあふく

新庄川より舟木南舟木の中を流る湖沼入

一 舟木村 舟木もむのゆき

一 吉敷は 舟木より遊遊し平谷のゆき舟

一 舟木村の流る舟 越田にまのたより

七段の二角なり

一 白石

一 白石 舟木の中舟木より一里東に

舟木より流る舟 舟木より流る舟

舟木より流る舟

一 舟木川 舟木より流る舟

舟木より流る舟 舟木より流る舟

なごらあべのあぶし二股川といふ東の家のあぶし  
あま川といふ南のあぶし。あぶし川といふはあぶし川新橋等の  
あぶしとあぶし古芳のあぶし社とあぶし社とあぶし社といふ川とあぶし  
あぶしといふあぶし川のあぶしとあぶし社といふあぶし社といふあぶし社  
のあぶしといふ古芳のあぶしといふあぶしといふあぶしといふあぶし  
あぶしといふあぶしあぶし川といふあぶしといふあぶしといふあぶし  
あぶしといふあぶしあぶし川といふあぶしといふあぶしといふあぶし

東澄文治二年西平九月五日條も云  
下 近江國安曇郡河津府

可令甲侍心定相承外任先例勤仕神保年

右件河津府志の別當社也。近日倭使定相之無道。行  
行見臨神保及蘭意。右以社家。中物有。院所。公

作也。持背今。以海志。中下。係。是。相。知。行。武。士。坊。外。  
外。不。出。原。卷。関。一。心。其。水。津。款。之。柳。如。津。一。以下

文治二年九月五日

万葉集。河津府志。河津府志。河津府志。河津府志。河津府志。河津府志。  
河津府志。河津府志。河津府志。河津府志。河津府志。河津府志。河津府志。  
河津府志。河津府志。河津府志。河津府志。河津府志。河津府志。河津府志。

鴨津河津集。白。河津府志。河津府志。河津府志。河津府志。河津府志。河津府志。

多。河津府志。河津府志。河津府志。河津府志。河津府志。河津府志。河津府志。

史。河津集。

又一代をうららちのの川をたもとめて善り候と云はしむる  
日本紀宗神天皇三年春三月新羅王子天日槍来  
歸烏日捨曰臣將住處若皇天思聽臣情願地者臣  
親歷視諸國則合臣心欲被給乃聽之於是天日槍  
自免道河洲北入近江國吾逆邑暫往蓋この思の  
ころお名抄とてんのかきハ伊香郡山ノ島思ひこくゆこら  
あれハ何とゆやほりハ

一西万あじ  
あまの村の東にありて  
川もろいよりこの橋造りし  
からあをり中畠の敷わさふり  
一西万あじ  
あまの村の東にありて  
川もろいよりこの橋造りし  
からあをり中畠の敷わさふり

あまの村の東にありて  
川もろいよりこの橋造りし  
からあをり中畠の敷わさふり  
一洗古芳ハあまの村本と  
あまの村の東にありて  
川もろいよりこの橋造りし  
からあをり中畠の敷わさふり  
一洗古芳ハあまの村本と  
あまの村の東にありて  
川もろいよりこの橋造りし  
からあをり中畠の敷わさふり  
一洗古芳ハあまの村本と

一 東方本村 西方本村の東にあり

一 東方本村 東方本村にあり 二丁をかくわし其の田

液として板の本あて中の一のうわとて 梅とては其の東西

万本の二村のをきき古昔よりかくわし 清水田

松平城より後川にあり けしきといふ本の本に

ひらりひらりといふありとていれりいれりか

もあふまらうち候の一名とて其の田液といふも

くうらうらうら本の本もいせり

ち北

ひらりひらり本の本のいせりいせりいせりいせりいせり

名義

一 新庄 東方本村の枝にあり 東方本村にあり

ふまるといふ

一 ひらりひらりの本にあり 東方本村にあり

文小集

一 冊の本にあり 東方本村の本にあり

一 新庄 東方本村にあり 東方本村にあり

一 ひらりひらりの本にあり 東方本村にあり

一 新庄 東方本村にあり 東方本村にあり

一 市巻 東方本村にあり 東方本村にあり

一 新店村 川傍村の東北より西へ

一 古砥止 新店村の南西より西へ

一 考居佐の滝より西へ

一 河原市村 新店村の西へ

一 妻巻村 河原市村の西へ

一 平井村 妻巻村の西へ

一 古砥止 平井村の南西より西へ

一 考居佐の滝より西へ

一 清水 平井村の西へ

一 考居佐の滝より西へ

一 古砥止 清水より西へ

一 考居佐の滝より西へ

一 考居佐の滝より西へ

一 布匠物馬場 回廊より西へ

一 心細村 考居佐の滝より西へ

一 心細村の西へ

一 阿波陀 心細村の西へ

一 山懐禅上人南苑 西大寺の末より西へ

一 井口村 河原市村の西へ

一 河内大船神社 井口ししよまきまありとありの神

た祥かたは延元或神名授ふ或ありふとありの大河原社也

なまきり多乳毎年四月初午日流瀧言冠馬有はを河原市

一 大河原社ししよまきは社を河内社としふとありハカ

大河原社ししよまき或流し曰三代実原より親十六年十

二月三日寺前河原川田神社授後不位下とりふハ其の社の

一 河原川ししよまき河原川の傍ししよまき川田の字の字ありし

一 河内社ししよまき河内社ししよまき

一 極楽寺 田村ししよまき浄ちふと文十九庚戌年光登

一 因成同基

一 東河原村 新庄村の東ししよまき

一 太田村 東河原村の東ししよまき大工をりし

一 天正十三年の年大國考者公大工十七くしと給七ふの流

一 東河原村 其後村世ちししよまき流流のしを免許あり

一 京中井之水ししよまき

一 天湯天神社 太田村ししよまき系とこししよまき富並相の聖

一 楊子方ししよまき地延元或神名授ふ或たふふとありの太

一 神社の地ありし相撫量極て或同社もとありしその名と

一 南社ししよまき一のたふ社の地ししよまき天湯天神社と

一 文永三年の棟札ありし甲子給極れありし太村

長谷寺より元為宗寺より元為宗村長谷河内村長谷西村長谷村長谷寺

一 長谷寺 大田村より長谷寺より長谷寺より長谷寺より長谷寺より長谷寺より

長谷寺より長谷寺より長谷寺より長谷寺より長谷寺より長谷寺より長谷寺より

長谷寺より長谷寺より長谷寺より長谷寺より長谷寺より長谷寺より長谷寺より

一 長谷寺 大田村の山より

一 長谷寺 大田村の山より

長谷寺より長谷寺より長谷寺より長谷寺より長谷寺より長谷寺より長谷寺より

長谷寺より長谷寺より長谷寺より長谷寺より長谷寺より長谷寺より長谷寺より

長谷寺より長谷寺より長谷寺より長谷寺より長谷寺より長谷寺より長谷寺より

甲井村より長谷寺より長谷寺より長谷寺より長谷寺より長谷寺より長谷寺より  
乙井村より長谷寺より長谷寺より長谷寺より長谷寺より長谷寺より長谷寺より  
丙井村より長谷寺より長谷寺より長谷寺より長谷寺より長谷寺より長谷寺より  
丁井村より長谷寺より長谷寺より長谷寺より長谷寺より長谷寺より長谷寺より  
戊井村より長谷寺より長谷寺より長谷寺より長谷寺より長谷寺より長谷寺より  
己井村より長谷寺より長谷寺より長谷寺より長谷寺より長谷寺より長谷寺より  
庚井村より長谷寺より長谷寺より長谷寺より長谷寺より長谷寺より長谷寺より  
辛井村より長谷寺より長谷寺より長谷寺より長谷寺より長谷寺より長谷寺より  
壬井村より長谷寺より長谷寺より長谷寺より長谷寺より長谷寺より長谷寺より  
癸井村より長谷寺より長谷寺より長谷寺より長谷寺より長谷寺より長谷寺より

政所下文集

本津庄遊記

可早停止古賀善積自由遊坊任田例打定傷年左番

庄者 島羽院時保延年中一以被定附山内領利

若治代被定延四五早南十三條西延分北十八條延年若教

無送元より自南古賀北吾積庄法与難令押領自然送

月一回被西庄に任人等件置内不入當庄民棄收録弁

之上刺令疎離云々所叙之旨甚以小意也且以居民解所情  
色三堵之處早假而認可寺定傳名之由大元金伐已畢凡天  
下早也舉世皆王山王寺感於未寺寺因教不令忘然之近  
寺立坊居民稱事了現寺怪之未其子細之史任四例且  
依先規可令寺定傳亦之亦如件解以下

建保四年八月三日

小寺主法師應俊

寺主大法師

都維那大法師

修理別當法橋上人位奉之

上座法橋上人位奉之

上門離堂寺尊勝院雜堂相傳近因亦律法者必古質  
境事法之故見早必執道代及之亦英依之亦大權更入道  
今寺通代師老海外十三條之通者亦律法內上門領之也寺子  
細云々以上志旨獨院競管之令上門離堂所務之由所被  
作下也仍執達四件

康永三年四月二日

汝法判

佐々木備中入道教

江別子德那本律法為三寺聖位料所保迄年中七

門律等附策南和以四五信名領知境一

一 東者限比殿新在抄改年

一 東者限十三條南境西佐之尾南小坂之半

一 西者限若按路追分半

一 北者限十八条北坂坂倉山半及山野之半

右建保四年四月傳名被定並于今高知外境強之若隣之

半今遠北者可致空飛科之州科

山内西塔院執行代

永正四年丁卯九月

祐憲判

今度若横之南庄北山坂目之條出入之半及從山門之半物

之檢見上志之半津原二石上若二限依山之半部之可

有異候後謹言

丹波守

貞昌判

天正三年九月十二日

御會座 百姓中

今度若横之南庄北山坂目之條出入之條より是記明之

知渡答通之山門之半物改丹波折候明渡之上志之半

一付之半

其の故二年九月二十五日

丹波守

一 今市村

一 平井村の心

一 辻沼村 个市村の西にあり

一 山形村 个市村北に村の東にあり

一 栗村 山形村の西にあり

一 貞高親王墓 栗村にあり右塔ありとも文書あり

一 古俗の伝く山形村

一 新沼村 栗村の東にあり

一 源海村 新沼村の東にあり

一 針江村 新沼村の西にあり

一 源氏溪 針江村の池邊にあり山平一歩井池にあり

一 田井村 針江村の東にあり

一 平川村 田井村の西にあり

一 古城址 平川村の上の山にあり古武を伝ち古城の地あり

一 延徳寺神社 平川村にあり孝親毎年四月初のさりの日

一 転恩寺 田村にあり福永

一 愛宕権現社 田村の北にあり

一 法泉坊跡 平川村にあり伊豆法泉坊櫻子の法

一 山形村

一 弟井村 平川村の南にあり

一 弟井寺古塚 弟井村にありは昔いさしむせとあり

一 のさし一負とあり信舎巻とあり一撤田信長とあり

亡きり寺為りなりつてそのあつてはなり一太郎の補復  
沼井為元三大師堂一宇を建てる一井も此四法  
井も井もしつて名宗大之を此のあつてはは  
志を此のあつては浅井も一も

一 上野村 中川村の西

一 目尻村 上野村の西

一 大慈寺 此は古苗村あつて此のち

一 高しむせうちのち一負ん

一 中津村 此村の西

一 本津村 此村の西

一 吉武村 国村のちりり吉武を此のち

一 とし今いふのちも名のち

一 川村 此村の西

一 新積庄 今津村新保村沼川村大津村上

一 下江村 此村の西

一 東鑑日所 衆中原信房者依為造酒正宗房孫子

一 殊被優賞 今日賜近江国善積庄是雖為因勝寺

一 領致信房所望之上為被酬宗房旧勞 如也

一 今津村 此村の西

一 此のち僅に此のち

戸あり舟着あり... 船のつらなり... のつらなり... 舟のつらなり...  
小湫のつらなり... 命を湖上八里... 舟のつらなり...  
舟のつらなり... 舟のつらなり... 舟のつらなり...

一 曹澤寺... 今は... 舟のつらなり... 舟のつらなり...  
舟のつらなり... 舟のつらなり... 舟のつらなり...

- 一 新保村... 今はのつらなり... 舟のつらなり...
- 一 弘川村... 舟のつらなり... 舟のつらなり...
- 一 大伴村... 弘川村の西なり...
- 一 下込部村... 舟のつらなり... 舟のつらなり...
- 一 上込部村... 舟のつらなり... 舟のつらなり...
- 一 南生村... 舟のつらなり... 舟のつらなり...
- 一 南生村... 舟のつらなり... 舟のつらなり...
- 一 熊野山... 舟のつらなり... 舟のつらなり...
- 一 延慶寺... 舟のつらなり... 舟のつらなり...
- 一 川上庄... 舟のつらなり... 舟のつらなり...

作舟平々高村極し、流は多村大流中々村梅村井口  
打岸昭村大角村板屋村三谷村井屋村江原村之股村  
以上二十一村と云

石田村 川原村の西より

石田川 川幅千石より川下石田村の東より

より流二一と角川の西よりあるなり角川の  
東より保坂村の東よりつと一とれより一と途中等より  
お盤曲してよりなれ保坂村の東よりして苗流と合して  
一とれより一とれより苗より進み村の西苗を造  
り苗より村南生村弘部村とあり一とれより東より一とれ

村新保村の中方を度々廻り

領家村 苗新保村の西より

地頭村 領家村の西より石田村領家村地頭村の

三村と溪谷と云

川原村 地頭村の西より

中々村 石田村の西より

中々村 中々村の西より

中々村 同村の西より平八恒波寺の縁起より

平々高村 平々高村の西より

平々高村 平々高村の西より

- 一 梅しりし 平ノ島村の南しりし
  - 一 井りし 梅村の南しりし
  - 一 岸眼村 井りしりの西しりし
  - 一 大座村 岸眼村の西しりし
  - 一 松原村 大座村の西しりし
  - 一 三谷村 松原村の西しりし
  - 一 井伊村 三谷村の西しりし
  - 一 古座止 井伊村より南に丹後守家本居坂の西しりし
- 奥比志畧卷之九十三終  
 奥比志畧卷之九十四

石清編輯

高橋郡 第三

- 一 酒波村 井伊村の北東あり
  - 一 酒波村 酒波村あり 本庄古土の西に高橋川上在
- 皇建山酒波平と人皇聖代智武天皇御宇天平十三年乙未行  
 皇言後、竹基自利の年の記述の傍に皇  
 氏の家擁護に兵場あり人皇七代後醍醐天皇御宇乙未年  
 川天皇康和三年乙未歳にありて中絶あり 西後弘治  
 二年西后法井備前守長政堂塔の基殿に在りて破中丹波





一 知内村 百瀬川のわきあり湖多のひらあり

一 物部村 知内村の北に南よりひらあり

一 知内川 上りより下り川と云ふありて知内川と云川中一河

一 計平常の橋あり源と云

一 一ツつ知内川河口村にあり流西に下り上河田の西に

一 あり一流にあり一ツつ知内川と云ふあり上河田の

一 西にあり一ツつ知内川と云ふあり上河田の西に

一 唐く湖多あり

一 幸久保村 松平村の西にあり

一 幸久保村 知内村の西にあり

一 越中村 幸久保村の西にあり

一 石陽村 幸久保村の西にあり

一 物部村 幸久保村の西にあり

一 赤瀬村 幸久保村の西にあり

一 幸久保村 幸久保村の西にあり



一 西條村 同村の事あり

一 権りも 西條村より南の事候候様なりと云ふ

一 古くは新美の事候なりと云ふ所の事候候様なりと云ふ

一 平年一平美之田より基甚厚なりと云ふ事候候様なりと云ふ

一 大作の地より事候候様なりと云ふ

一 かしら 海らりの事あり

一 かしら かしらの事あり

一 かしら かしらの事あり

一 貝は古所村 西條村の事ありと云ふ所候候様なりと云ふ

一 事候候様なりと云ふ所の事候候様なりと云ふ

一 け地へなる物をあけけりし所候候様なりと云ふ

一 堀川後百首

仲実頼臣

一 け地へなる物のあけけりし所候候様なりと云ふ

一 天馬天神社 貝俣と云ふ所候候様なりと云ふ

一 建久二年辛丑三月十日の事候候様なりと云ふ

一 家老と云ふ所候候様なりと云ふ

一 貝俣中村所村

一 貝俣中村所村

一 小倉新村 貝俣の事ありと云ふ

一 新井村 小倉新村の事ありと云ふ

一 天保開 伊豆村の西の御座り

一 女のお入を改む 三保の西園所にて武士と改む

一 信長より馬とて一泊りして海邊新白中園所の格

一 伊豆村三上と改む者御りて建武年中一初回御

一 少少と改むとて改むと始りて信長と改む

一 一甚難多のしく大年紀と改む

一 岡根村 伊豆村の西にて改む

一 伊豆村 南より改む

一 進合村 伊豆村の西にて改む

一 有川村 進合村の西にて改む

一 伊豆村 進合村の西にて改む

一 山中村 伊豆村の西にて改む

一 山中園 山中村の西にて改む

一 伊豆村の西にて改む

一 伊豆村 伊豆村の西にて改む

一 大杉村 山中村の西にて改む

一 天保村 大杉村の西にて改む

一 途中谷村 伊豆村の西にて改む

一 橋川村 途中谷村の西にて改む

一 朽木谷 荒川野尻谷傷多子若狭場村守備下物と改む



一 水へ引ハ差極遠なり。朽木と云くは南へ引ハ二里なり  
 一 朽木古敷地 朽木方面のより、引ハ古へ出ハ今ハ朽木成  
 の邸と云く。

一 朽木川 原武ヲとらハ糠糲おの西ハ登曲ハ核  
 谷おの西ハ唐ハ糠糲おの東ハと云くニ流合ハ朽  
 木方面の西東ハ遠ワテ坊ハ川ハ合ハ曲れと云  
 一 中尾嶽の東ハ唐ハ安里川と云ハ流ハ入ハ古ハ糠  
 の水ハ細瀬ハおの東ハと云ハ古ハ糠糲の西ハと云ハ少  
 流ハ糠糲おの東ハと云ハ二流合ス

一 山王様神社 朽木おの南ハ引ハ少ハ南ハと云ハ

の社と朽木おの南ハ引ハ少ハ南ハと云ハ

一 興正寺 朽木市場ハ引ハ曹洞宗ハ法無阿まの末

ちなりお侍おのふハ無阿まハ法無ハこの地ハと云ハ

一 西寺と建立ト云ハおの南ハ引ハ少ハ南ハと云ハ

一 善門寺 日所ハ引ハ

一 野尾村 朽木市場の東ハ引ハ少ハ南ハと云ハ

一 岩乃世 中尾嶽の上嶽ハ引ハ少ハ南ハと云ハ

一 時元本ありと云ハ朽木氏の地ハ引ハ少ハ南ハと云ハ

一 野尾坂 朽木氏神の東の園ハ引ハ少ハ南ハと云ハ

一 嶺と云

一 宮前村 坊村の東南にあり村のくろたは社の三女を

村の名しる

一 朽木太文神社は社宮前村にあり祭礼毎年四月初の午に

口あり西日を太文神社にあり苗社にあり社をい朽木谷中の

にあり林にあり

一 岩井村 朽木市場の南にあり

一 周林院 岩井村にあり曹洞宗に朽木河内中の奉刺に

依り本意持家の女考をこの創り松の尾敷の妹朽木氏にあり

一 平後周林院にあり苗にあり寺にあり又周林院にあり方丈の

あり傾に泉水有流あり院嘉永元年將軍足利氏晴三好

一 丸礼をいり高きとあり朽木にあり朽木氏教少僧植佃に

一 洋に伝石又年撰に天文元年陽あるけちい義晴の居に

一 今ありあり伝にあり陽を晴にあり一ありありありありあり

一 ありありありありありありありありありありありあり

一 坊村 岩井村の西にありありありありありありありあり

一 坊村川 源にありありありありありありありありありありあり

一 ありありありありありありありありありありありありあり

一 川の幸院にありありありありありありありありありありあり

一 湖水入

一 宮前村 岩井村の南にあり

一 下柏村 傍村の南西にあり

一 上柏村 下柏村の南西にあり

一 古川村 上柏村の西にあり

一 大塚村 上柏村の南にあり

一 村井村 大塚村の南にあり

一 檜村 村井村の南にあり

一 麻生村 椋川村の南西にあり

一 地子系村 宮上原村の西南にあり

一 宮内谷村 大塚村の西にあり

一 長尾村 長尾村の南にあり

一 沼澤池 けしん池の南にあり 新澤池 沼澤池の南にあり

一 古芳 けしん池の南にあり 寺あり 沼澤池の南にあり

一 信長 けしん池の南にあり 信長池の南にあり

一 中野村 長尾村の南にあり 沼澤池の南にあり

一 大石寺 中野村の南にあり 古芳池の南にあり 徳田信長

の南にあり 鳥居あり 沼澤池の南にあり 信長池の南にあり

一 葉八町 けしん池の南にあり 沼澤池の南にあり 信長池の南にあり

一 大石寺 中野村の南にあり 古芳池の南にあり 徳田信長

の南にあり 鳥居あり 沼澤池の南にあり 信長池の南にあり

ついでに... のお僕... の方... の...  
...  
...

一 古賀村 上下田の南にあり

一 南古賀村 中野村の南にあり

一 下古賀村 南古賀村の西にあり

一 上古賀村 下古賀村の西にあり

一 小川村 檜村の西南にあり

一 年島村 小川村の西南にあり

一 汁細谷村 以下の九村とあり

一 古賀村 年島村の西にあり

一 小林中物村 古賀村の西にあり

一 小入谷村 小林中物村の西にあり

一 庄屋村 小林中物村の南にあり

一 生松村 庄屋村の南西にあり

一 赤原村 生松村の南西にあり

一 終高村 生田村の南西にあり

一 横谷村 麻生村の南にあり

一 輪廻村 横谷村の西にあり



